

2016年3月期 第2四半期 決算説明会

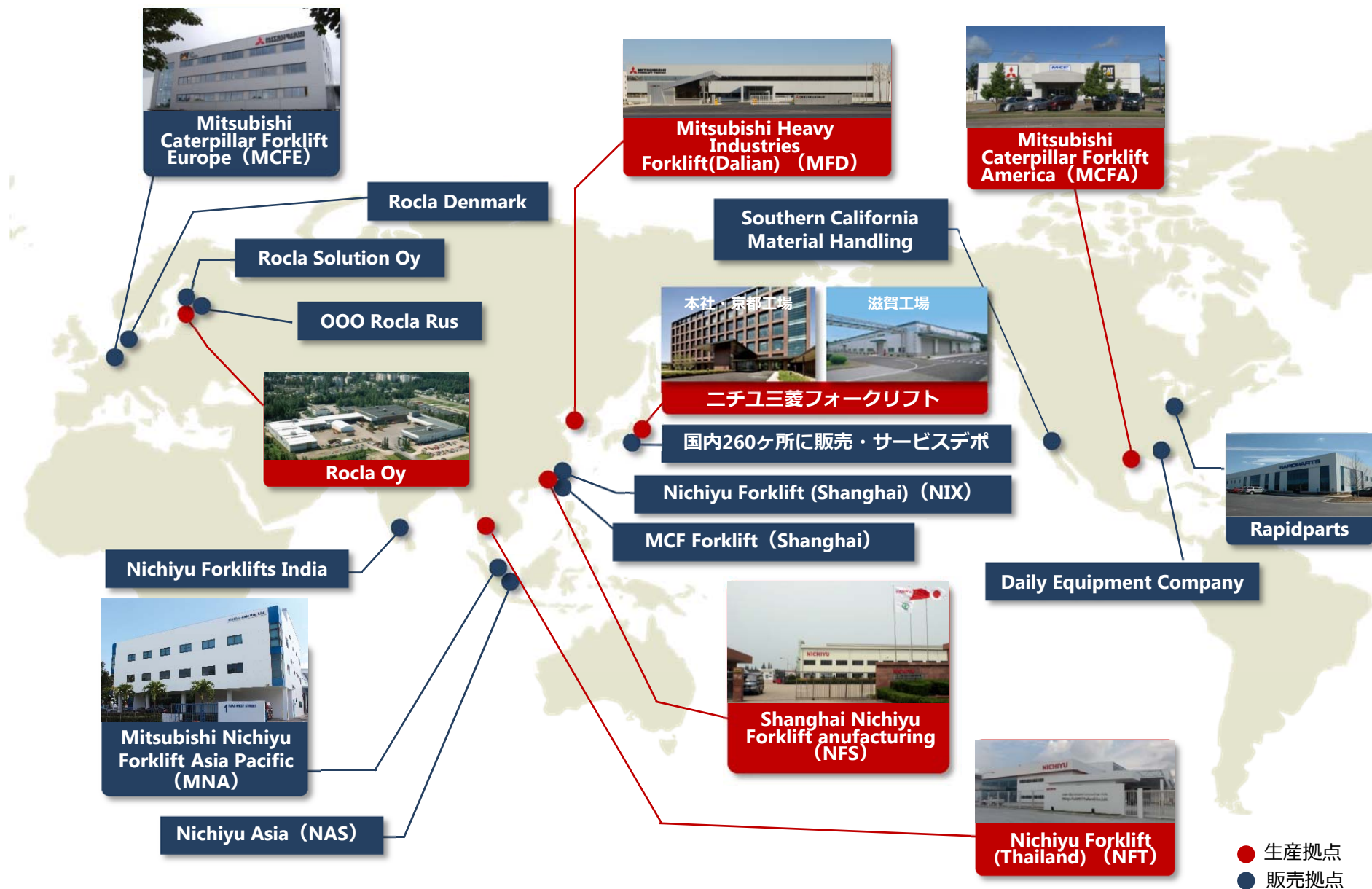
2015年12月8日

ニチュ三菱フォークリフト株式会社

会社概要

商 号	ニチユ三菱フォークリフト株式会社 (英文名：Mitsubishi Nichiyu Forklift Co.,Ltd.)
本社所在地	京都府長岡京市東神足2丁目1番1号
設 立	1937（昭和12）年8月
資 本 金	48億90百万円（2015年3月31日現在）
事 業 内 容	バッテリーフォークリフト、エンジンフォークリフト、搬送用ロボット、自動倉庫、WMS※等の物流システム商品等の開発・設計・製造・販売 ※ WMS：ウェアハウスマネジメントシステム
事 業 所	【国 内】 京都・滋賀 【海 外】 米国 Houston,TX（テキサス州） Peral,MS（ミシシッピー州） Grand Rapids,MI（ミシガン州） PicoRivera,CA（カリフォルニア州） 欧州 オランダ・フィンランド 中国 大連・上海 アジア タイ・シンガポール 等
年間生産能力	約 65,000台
連結従業員数	約 5,500名

主な生産・販売拠点



2016年3月期第2四半期の決算概要

取締役社長 二ノ宮秀明

決算の概況

市場環境

世界経済は、米国をはじめとする先進国を中心に緩やかな回復基調を維持しているが、中国経済の減速が世界経済の先行き不透明感を強めている。日本においては、中国・アジア新興国の景気減速が景気下押し要因となっているものの、円安と原油安の定着により、設備投資、雇用に改善が見られる等、景気の回復傾向は継続している。

当社業績の概要

国内事業

売上高：前年同期（決算期統一影響額を除く※）比34億4千9百万円増加（+9.5%）

＜主な要因＞ エンジンフォークリフトの販売増

営業利益：前年同期（決算期統一影響額を除く※）比12億6千万円減少（▲80.2%）

＜主な要因＞ 海外生産移管に伴う大型エンジンフォークリフトの輸出売上減少による粗利減
ユニキャリアホールディングス社株式取得費用等一般管理費の増加

海外事業

売上高：前年同期（決算期統一影響額を除く※）比103億9千9百万円増加（+14.3%）

＜主な要因＞ 米国の売上増加、円安効果

営業利益：前年同期（決算期統一影響額を除く※）比19億6百万円増加（+76.8%）

＜主な要因＞ 米国の売上増加、円安効果、欧州子会社の収益改善

※2014年9月期連結累計期間は、決算期変更の経過期間であったことから、当社及び従前の決算日が3月末日の連結子会社は6ヶ月間、決算日が12月末日の連結子会社は9ヶ月間を連結対象期間とした、変則的な決算となっています。

1. 連結財務諸表の概要

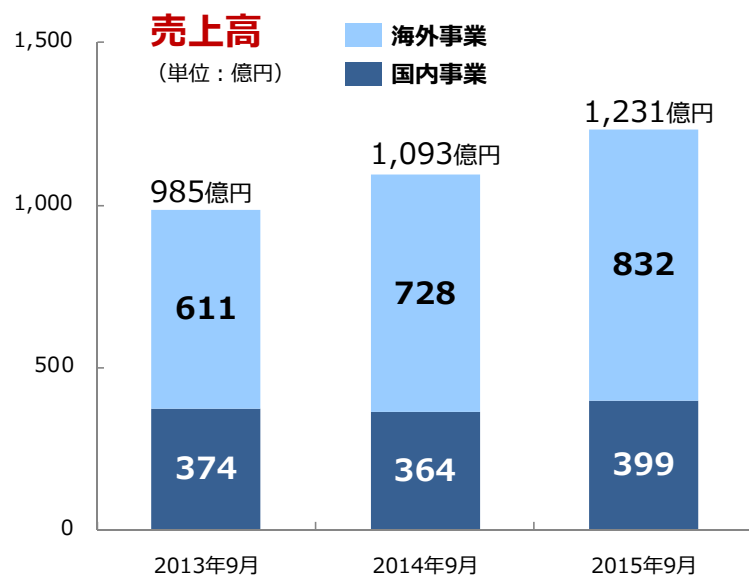
(単位：億円)

項 目	2014年9月期		2015年9月期	前年同期比増減 (決算期統一影響を除く)	
		決算期統一影響を除く			
売上高	1,437	1,093	1,231	138	+12.7%
営業利益 (営業利益率)	62.9 (4.4%)	40.5 (3.7%)	47.0 (3.8%)	6.5	+16.0%
経常利益 (経常利益率)	60.3 (4.2%)	40.8 (3.7%)	43.8 (3.6%)	3.0	+7.4%
当期純利益 (当期純利益率)	34.2 (2.4%)	22.2 (2.0%)	24.4 (2.0%)	2.2	+10.1%

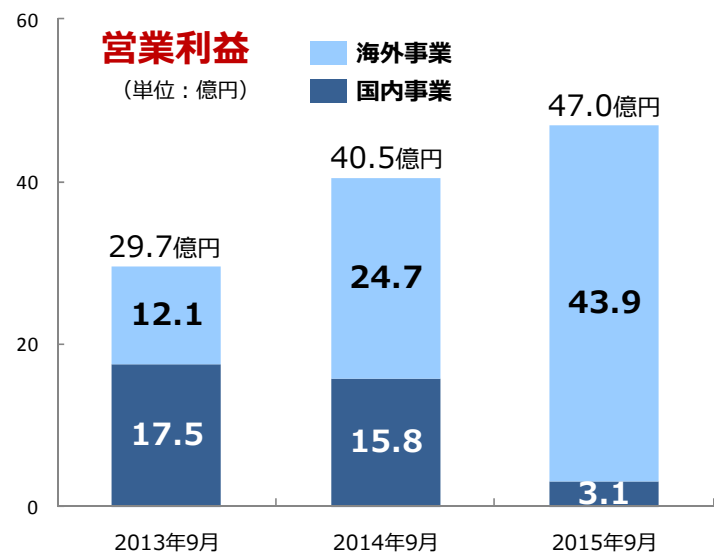
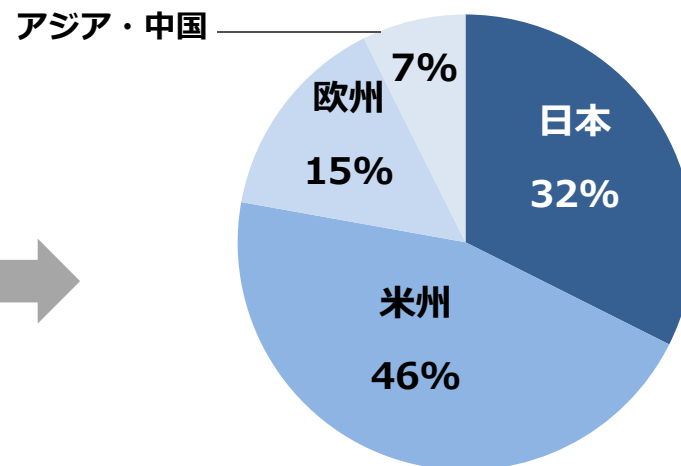
項 目	2015年3月期	2015年9月期	前年同期比増減	
総資産	1,629	1,674	45	2.8%
総負債	1,047	1,085	38	3.6%
純資産	581	589	7	1.3%

※2014年9月期連結累計期間は、決算期変更の経過期間であったことから、当社及び従前の決算日が3月末日の連結子会社は6ヶ月間、決算日が12月末日の連結子会社は9ヶ月間を連結対象期間とした、変則的な決算となっています。

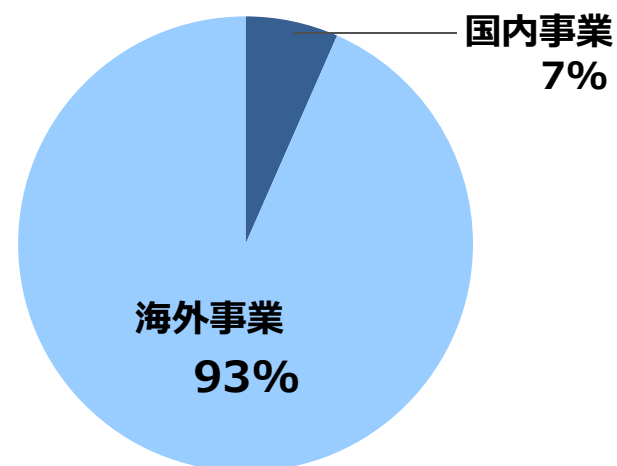
2. セグメント別業績



地域別売上高 (2015年9月期)



セグメント別営業利益 (2015年9月期)

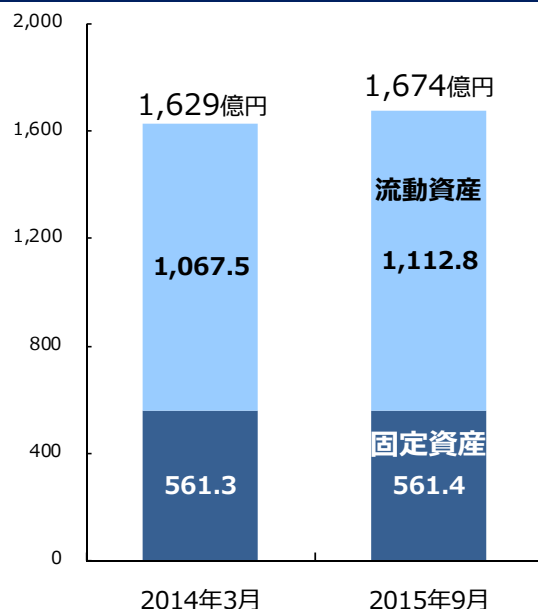


※2014年9月期実績は決算期統一影響（2014年1-3月）を控除しています

3. 連結貸借対照表

(単位：億円)

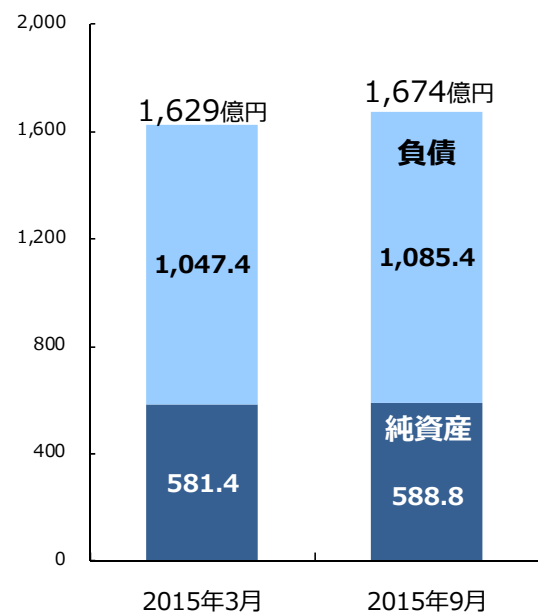
資
産



資産
+ 46億円 増
主な増減

項 目	2015年3月期	2015年9月期	増減
流動資産	1,067	1,113	46
うち有形固定資産	413	410	▲3
うち無形固定資産	47	50	3
固定資産計	561	561	—
資産合計	1,629	1,674	46

負
債
／
純
資
産



負債
+ 38億円 増
純資産
+ 8億円 増
主な増減

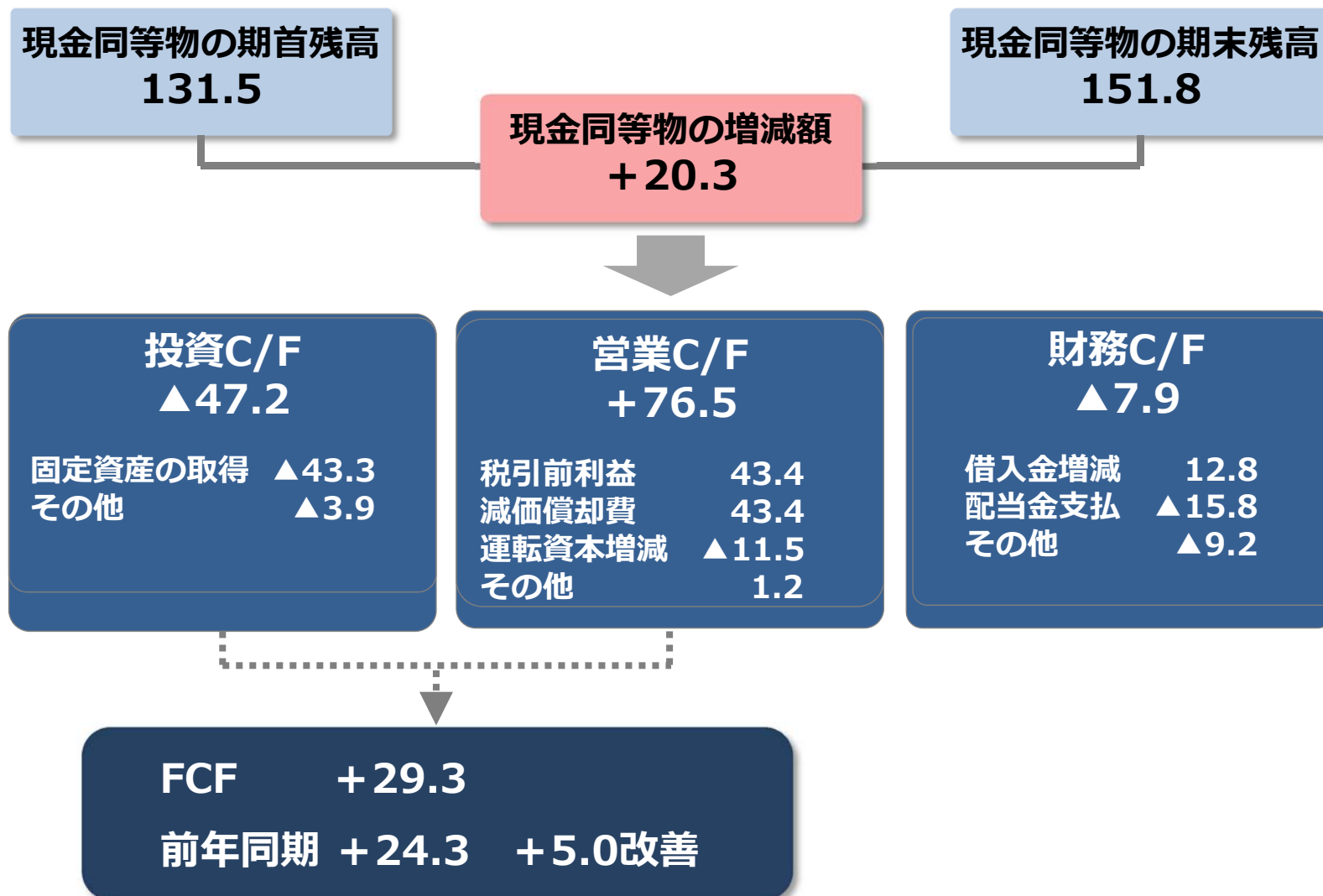
項 目	2015年3月期	2015年9月期	増減
流動負債	878	921	43
固定負債	169	164	▲5
負債合計	1,047	1,085	38
純資産合計	581	589	8
負債・純資産合計	1,629	1,674	46

4. 連結キャッシュ・フロー計算書

FCFは前年同期の+24.3億円から+29.3億円に改善

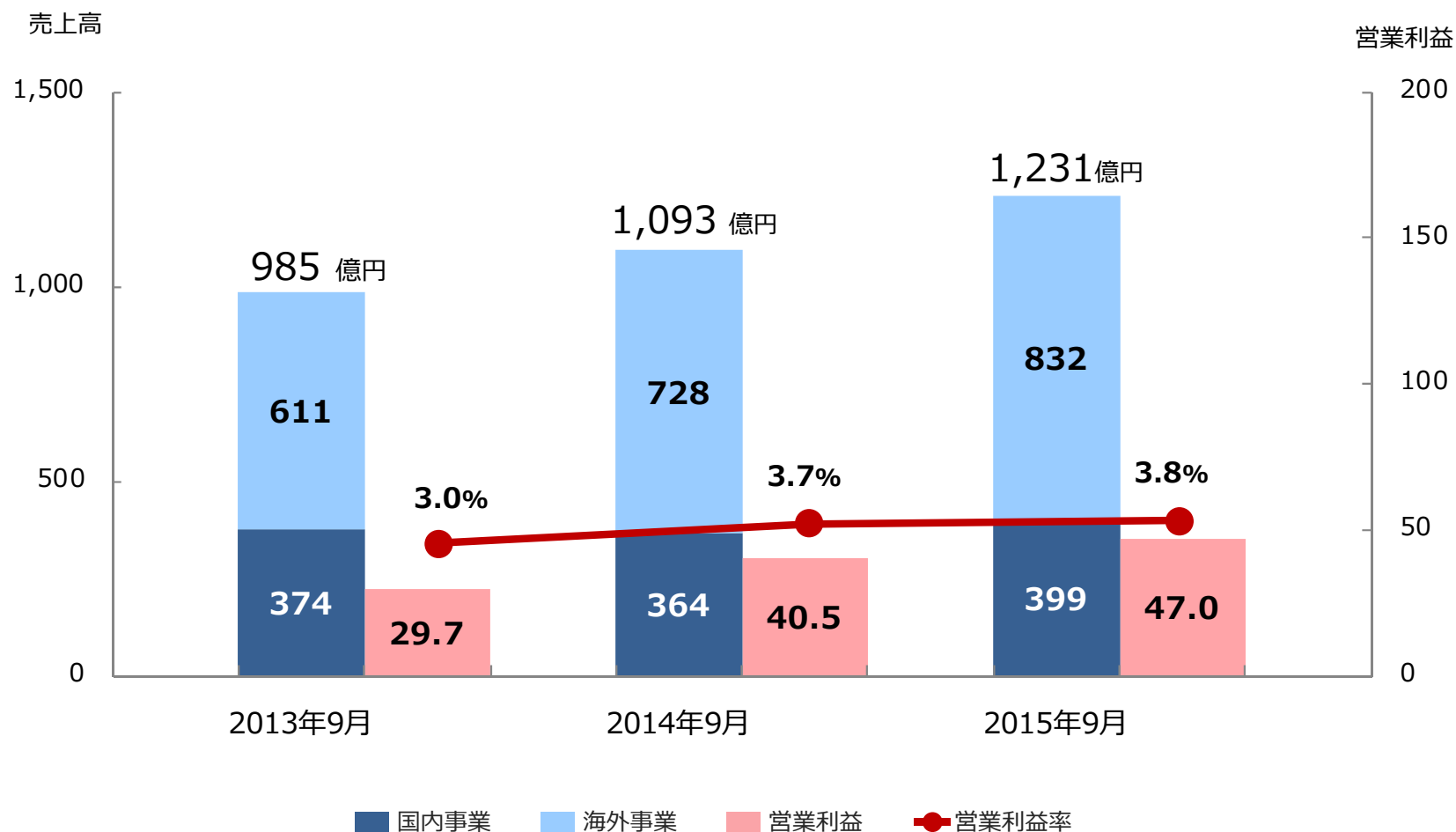
(単位：億円)

※前年同期は海外子会社の決算期を統一したことで、2014年1-3月の業績が加算されており、実質は大幅改善



5. 業績の推移

(単位：億円)

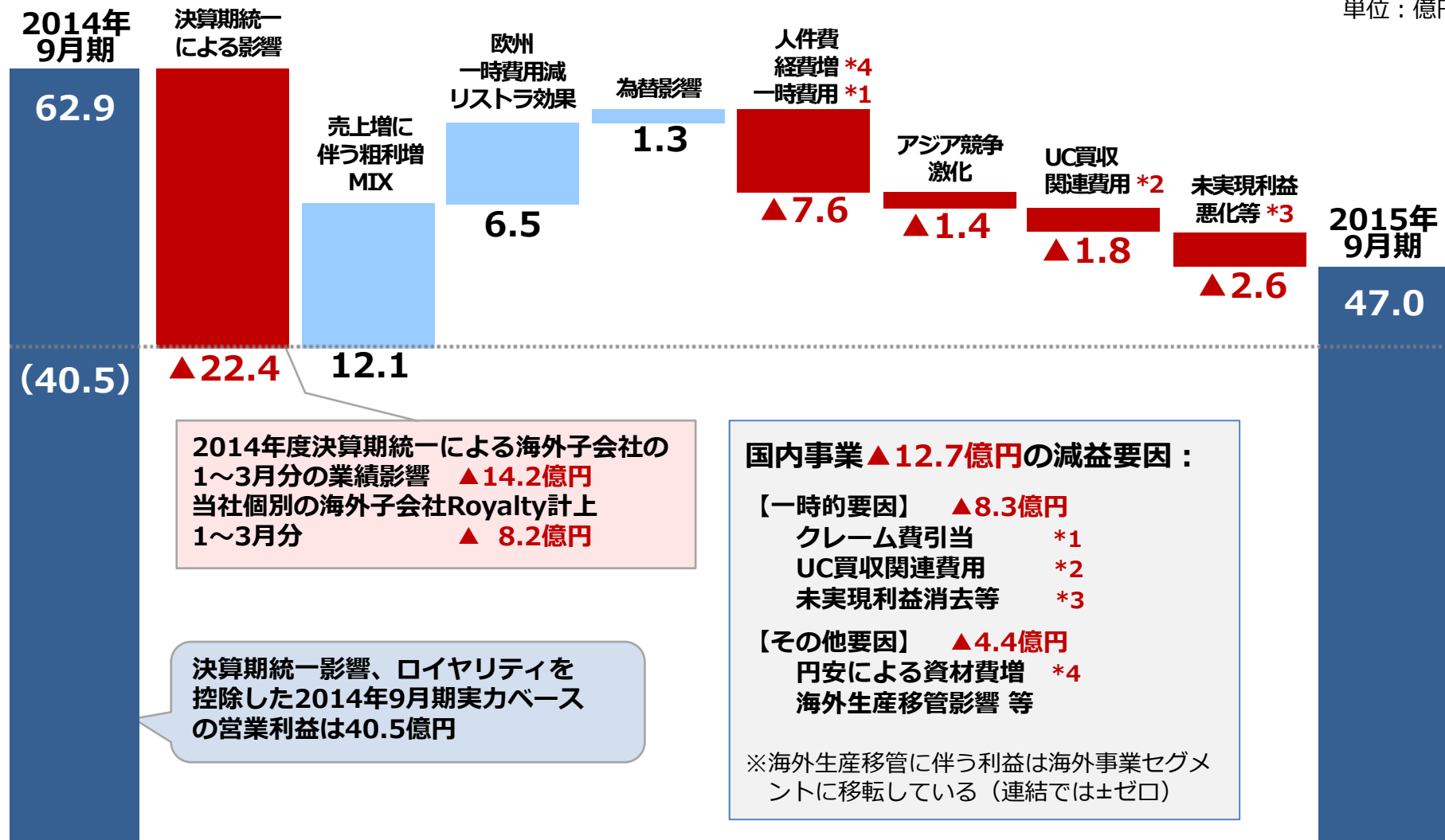


※2014年9月期実績は決算期統一影響（2014年1-3月）を控除しています

6. 2015年9月期 連結営業利益（実績）増減要因

北米を中心とした売上増、欧州事業の再建効果が寄与し、決算期統一の影響を控除した実力ベースの比較では前年同期比116%の増益を確保

単位：億円



7. 主な経営指標

項目	指標	算式	2015年3月期 (3ヶ月影響除く)	2015年9月期	コメント
総合	総資本利益率 (ROA)	$\frac{\text{当期純利益}}{\text{総資本}}$	2.4%	3.0%	前年同期は決算期統一の影響により、海外子会社の業績が9ヶ月分加味されているため除外後の数字も併記
	自己資本利益率 (ROE)	$\frac{\text{当期純利益}}{\text{自己資本}}$	7.4%	8.6%	
収益性	売上高経常利益率	$\frac{\text{経常利益}}{\text{売上高}}$	3.4%	3.6%	同上
	売上高当期利益率	$\frac{\text{当期純利益}}{\text{売上高}}$	1.7%	2.0%	
効率性	総資本回転率	$\frac{\text{売上高}}{\text{総資本}}$	1.4回	1.5回	
	売上債権回転率	$\frac{\text{売上高}}{\text{売上債権}}$	5.6回	6.0回	
	棚卸資産回転率	$\frac{\text{売上原価}}{\text{棚卸資産}}$	3.9回	4.3回	
安全性	自己資本比率	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}}$	34.5%	34.2%	
	D/Eレシオ	$\frac{\text{有利子負債}}{\text{株主資本}}$	0.9倍	0.8倍	
株主関連	株価収益率 (PER)	$\frac{\text{株価}}{\text{1株当たり利益}}$	18.6倍	10.3倍	2014年度上期：842円 2015年度上期：470円
	株価純資産倍率 (PBR)	$\frac{\text{株価}}{\text{1株当たり純資産}}$	1.3倍	0.9倍	

8. 2016年3月期通期業績見通し

(単位：億円)

項 目	2015年9月期 (実績)	2016年3月期 (予想)
売上高	1,231	2,400
営業利益 (営業利益率)	47.0 (3.8%)	85 (3.5%)
経常利益 (経常利益率)	43.8 (3.6%)	80 (3.3%)
当期純利益 (当期純利益率)	24.4 (2.0%)	45 (1.9%)
1株当たり配当	—	10円

中長期的戦略

取締役社長 二ノ宮秀明

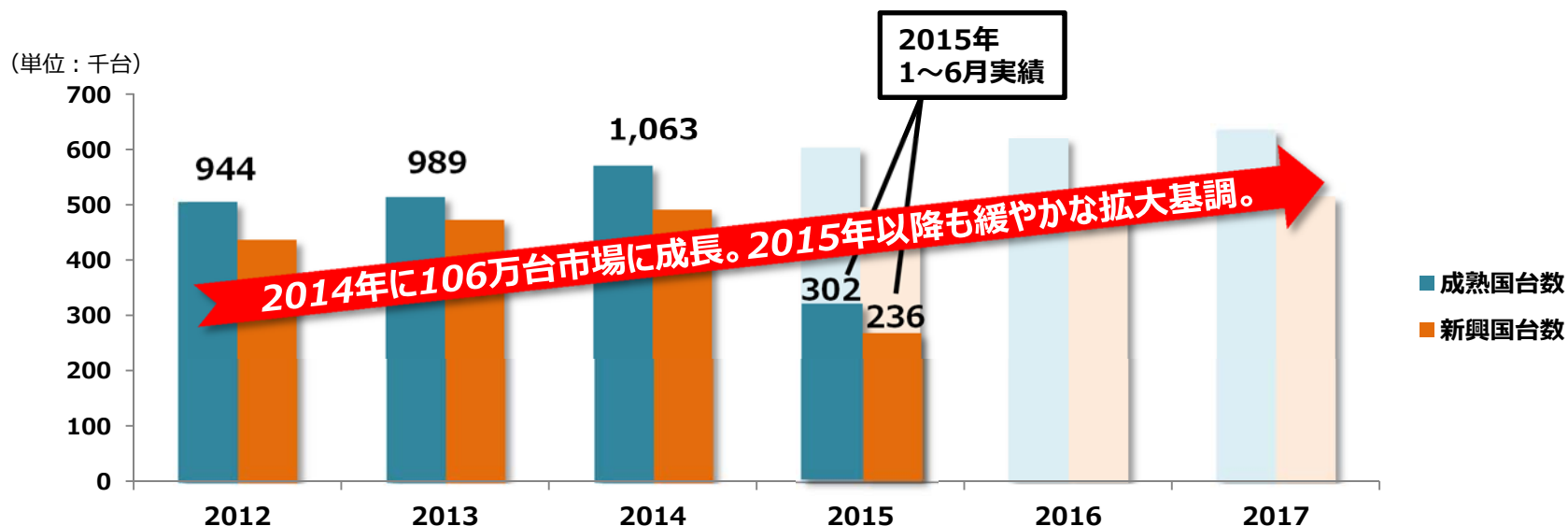
1. 市場環境

■ 経済動向

- 成熟国は米国を中心に全体的には緩やかな成長が続く見込み。また、日本経済は内需を中心に底堅く推移する見込であるが、輸出は軟調持続傾向に。
- 新興国ではアジアにおいてASEAN・インド経済をはじめ成長ペースが鈍化。中国経済は7-9月期の実質GDP成長率が前年比+6.9%と減速が顕著。

■ フォークリフト市場動向

- 2014年の世界市場は、成熟国および中国市場の牽引により前年比7.5%増となり、過去最高の100万台超の市場規模に成長。
- 2015年上半期は北米・西欧を中心に成熟国では堅調に市場規模が拡大（対前年同期比108.0%）しているものの、新興国では景気低迷・資源安の影響により市場規模が縮小（対前年同期比93.2%）。2015年通年では2014年比微増を予想。

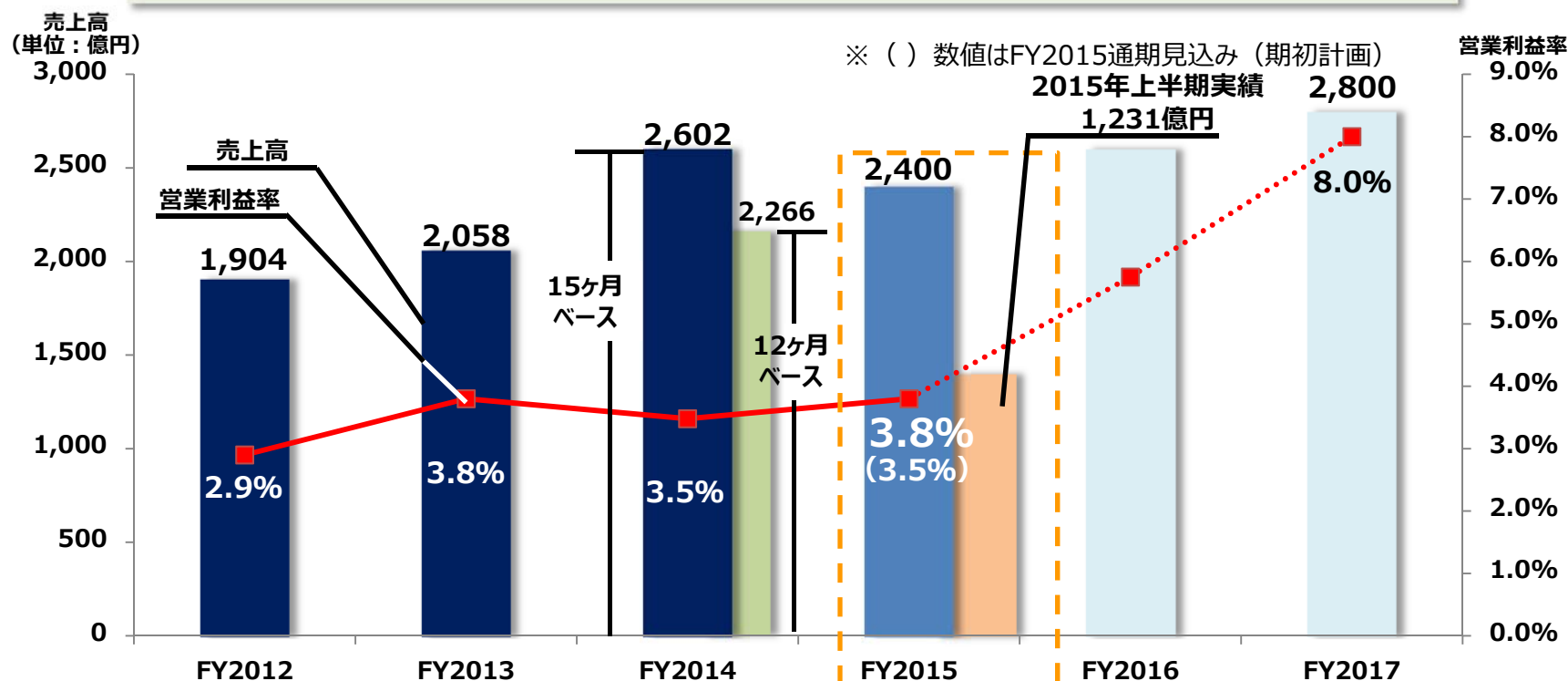


2. 中期経営計画(*Best Integration 2017*)進捗状況

FY2015上期は成熟国市場での市場規模拡大による販売増に加え、円安寄与により増収となる（決算期統一影響を除く対前年同期比12.7%増）

また、利益面も国内販社および欧州子会社の収益改善などで営業利益率は期初計画比0.3ポイント上振れで推移。

「基盤強化」「成長戦略の実行」「シナジーの確実な刈取り」により
「FY2017売上高2,800億円、営業利益率8%」を実現。

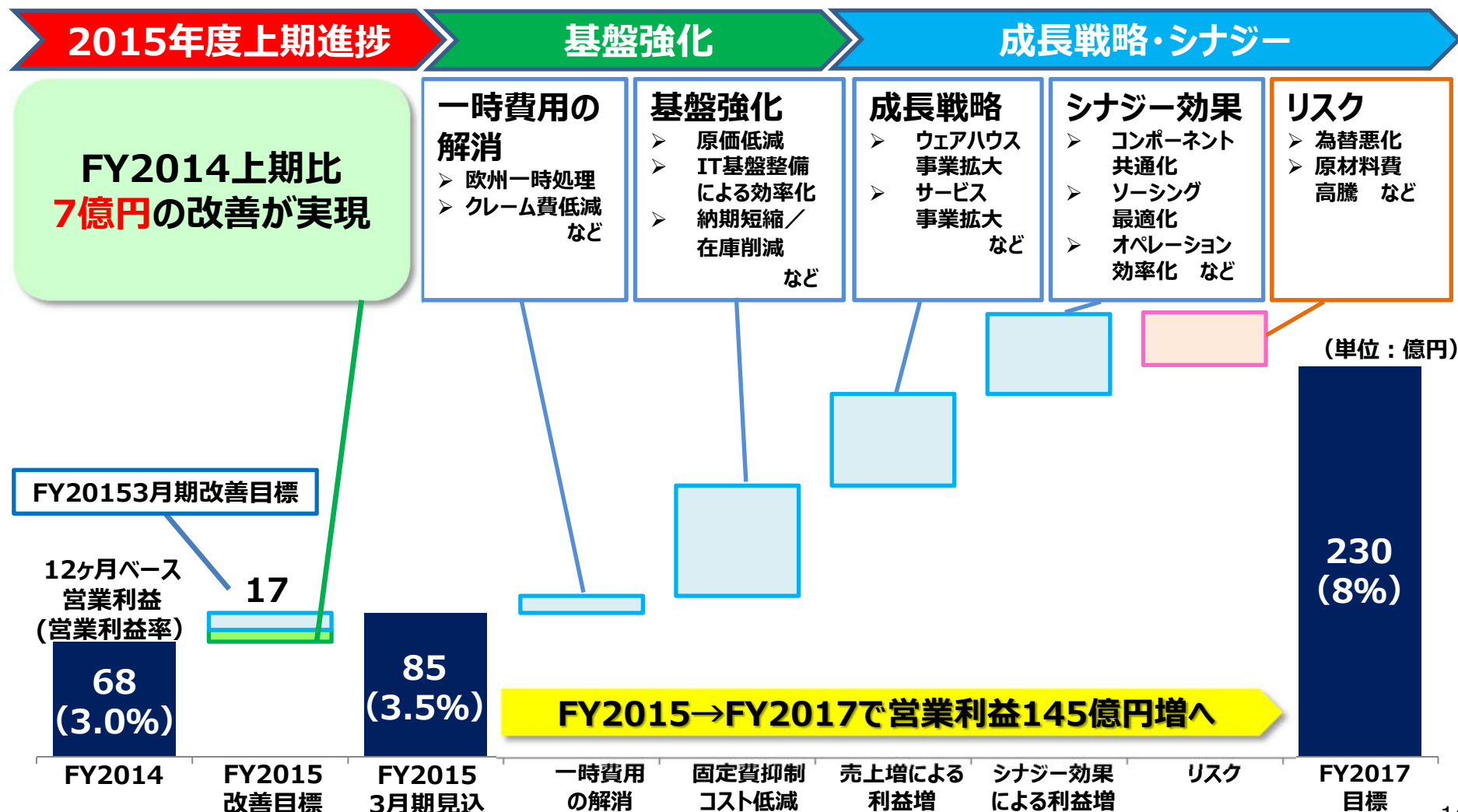


※FY2012は売上高は統合前のため仮想連結

※FY2014は海外グループ会社については15ヶ月決算（NFT除く）

3. 2015年度重点課題進捗状況

FY2015上期は「一時費用の減少」「成長戦略による売上増」などにより利益率が改善。
中期経営計画達成に向け着実に基盤強化・成長戦略とシナジーの刈取りを実行。

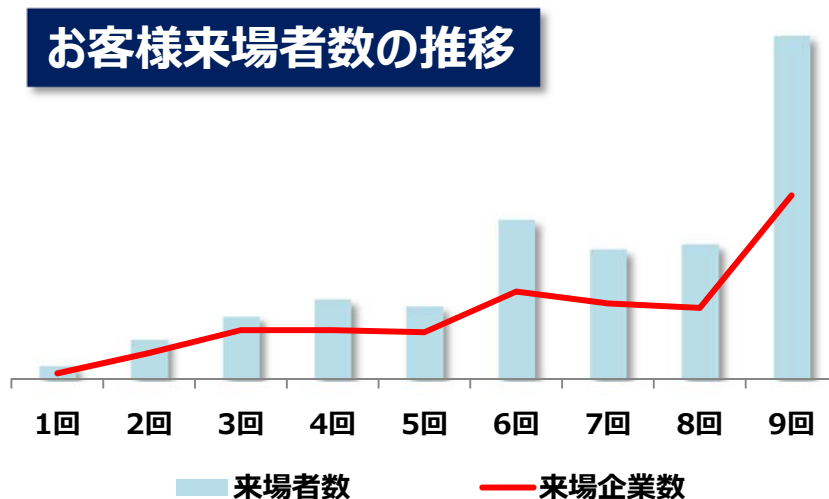


4. 2015年度上期トピックス

■第9回「物流ソリューションフェア」の開催

- 2015年6月10日と11日の2日間、愛知県名古屋市のポートメッセなごやで当社主催の「物流ソリューションフェア2015 in なごや」を開催。
- 当社製品の展示をはじめ、お客様に対して物流改善の「解決・ヒント・気づき」を提供。
- 関東・関西・中部地区あわせて今回で9回目の開催となり徐々に参加者が拡大。
『お客様と共に創る当社の物流技術』を体感いただける。

※2016年は岡山で開催を予定



物流ソリューションフェア2015 in なごや

4. 2015年度上期トピックス

■ディーゼルエンジン式フォークリフト 新型「GRENDiA（2～3.5At）」発売

- 国内の特定特殊自動車2014年排出ガス基準に対応したディーゼルエンジン式フォークリフト「GRENDiA」を2015年9月1日に全国で販売開始。
- コモンレールとEGR※₁の採用による新開発の自然吸気（ターボレス）エンジン「GREEN ADVANCED DiESEL」を搭載。
高い操作性と20.4%の燃費向上（当社従来車比）を実現。
- さらに高度なエンジンコントロールとDOC※₂の採用により、DPF※₃レスを実現し、後処理装置のメンテナンスフリーが可能に。
- トップクラスの環境技術搭載で地球環境にやさしい製品を展開。

※1:EGR…排出ガス再循環(Exhaust Gas Recirculation)

※2:DOC…ディーゼル用酸化触媒(Diesel Oxidation Catalyst)

※3:DPF…ディーゼル微粒子捕集フィルター(Diesel Particulate Filter)



特定特殊自動車2014年排出ガス基準適合
ディーゼルエンジン式フォークリフト
「GRENDiA」

4. 2015年度上期トピックス

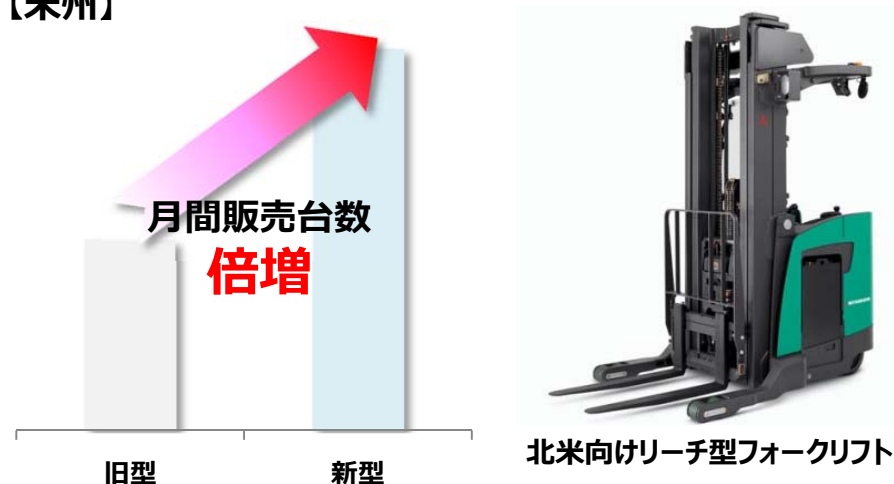
■ 新型機種の販売状況

- 2014年度に日本・米州・欧州で投入した新型（フルモデルチェンジ）機種の販売がウェアハウス機種を中心に好調に推移。

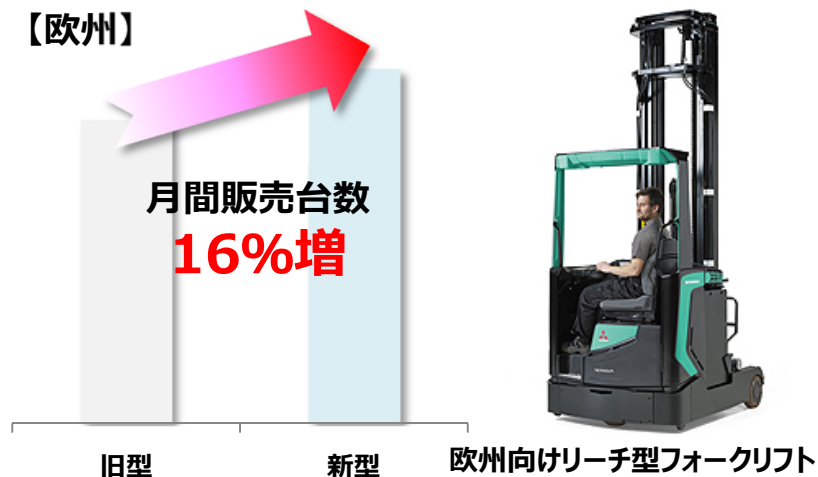
【日本】



【米州】



【欧州】



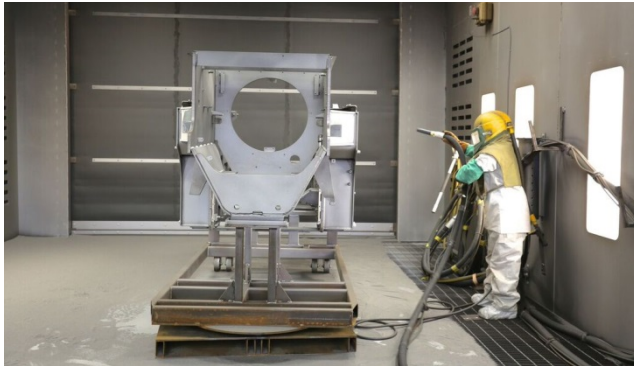
【欧州】



4. 2015年度上期トピックス

■ 米国工場で新設備が稼動

- ウェアハウス系機種／大型フォークリフト用の溶接設備および粉体塗装設備が稼動。
- 本設備の稼動によりさらなる環境負荷低減効果が期待でき、生産工程においても地球環境にやさしいモノづくりに積極的に取り組む。



粉体塗装設備

粉体塗装設備

- VOC※（揮発性有機化合物）50%削減
- 熱・煙が発生する工程への人員配置最小化
- 廃棄物削減

※VOC…Volatile Organic Compounds



溶接設備



米国工場Mitsubishi Caterpillar Forklift America (MCFA社) 全景

5. ユニキャリアホールディングス株式会社への出資について

2015年7月31日、当社および三菱重工業株式会社（以下、三菱重工）はユニキャリアホールディングス株式会社（以下、ユニキャリアHD）の全株式を株式会社産業革新機構（以下、INCJ）、日立建機株式会社（以下、日立建機）、および日産自動車株式会社（以下、日産自動車）から譲り受けることに係る株式譲渡契約を締結。

【ユニキャリアHD社概要】

会社名	ユニキャリアホールディングス（株）
設立	2011年
本社所在地	神奈川県川崎市幸区
資本金	187億50百万円
株主	INCJ(53.3%) 日立建機(26.7%) 日産自動車（20.0%）
従業員数	5,536名（2015年4月現在）

【当社出資概要】

取得株式数	132,135株 (議決権所有割合 35%)
取得価額	約385億円超

【ユニキャリアHD社沿革】

2011年11月	TCMと日産フォークリフトの事業統合を目的に設立
2012年8月	ユニキャリアHDがTCMと日産フォークリフトを完全子会社化
2013年4月	TCMが日産フォークリフトを吸収合併し、ユニキャリアに商号変更



ユニキャリア社製8t積ディーゼルエンジン式フォークリフト

5. ユニキャリアホールディングス株式会社への出資について

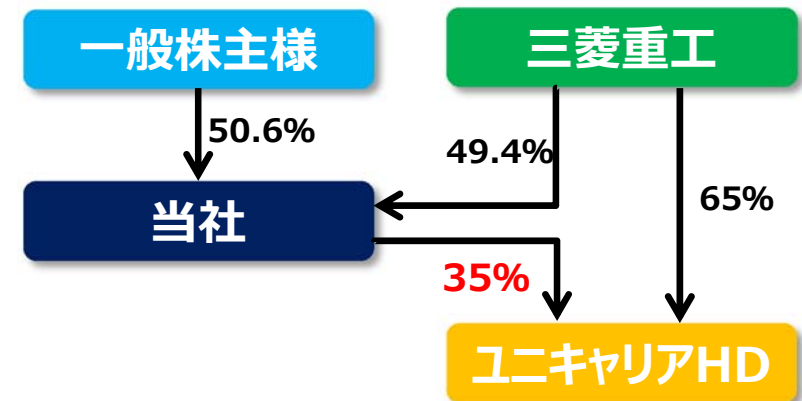
■ ユニキャリアHDに対する出資の狙い

- フルラインナップ化によりお客様の多様なニーズへの対応力向上
- 当社およびユニキャリア社の開発力に三菱重工の先進・革新的な技術を加えることで製品競争力のさらなる強化の実現
- 販売ネットワークの補完によりグローバル展開力を増強し事業基盤を強化

■ 今後の取組みについて

- 2015年10月1日付でユニキャリア社の株式取得に係る準備委員会を発足。
- 三菱重工・ユニキャリア・当社の3社が一丸となり、世界トップレベルの物流機器メーカーとなるべく経営方針や戦略を立案

【出資ストラクチャー】



注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

お問い合わせ先

ニチユ三菱フォークリフト株式会社
総務課 松浦、小泉

〒617-8585

京都府長岡京市東神足2-1-1

TEL : 075-951-7171 FAX : 075-955-3797

<http://www.nmf.co.jp/>